

築かれる都市と地域の未来 ～人の絆・文化の絆を紡ぐ～



理念なき合理化の時代に向き合い、

人と人との関係、自らの生きる場や生活様式への思いを織り込み、

お互いを高めあう“絆”を紡ぎ、私たちの明日を描く――

日 時 2010年3月19日(金) 13:30～17:20 / 20日(土) 9:15～17:00
会 場 湘南国際村センター(神奈川県葉山町)
プログラム 問題提起・趣旨説明・4つのセッション他+講師・討議者を交えたコーヒープレイク
聴 講 者 60名(応募多数の場合は抽選)
参 加 費 2,000円(学生1,000円)

◆モデレーター 神野 直彦 関西学院大学大学院教授

◆21世紀かながわ円卓会議運営委員会

樺山 紘一 印刷博物館館長／東京大学名誉教授
高島 肇久 株式会社日本国際放送代表取締役社長
山崎美貴子 神奈川県立保健福祉大学学長
福原 義春 財団法人かながわ国際交流財団理事長
武藤 誠 財団法人かながわ国際交流財団常務理事



主 催 財団法人かながわ国際交流財団
後 援 自治体学会



築かれる都市と地域の未来 ～人の絆・文化の絆を紡ぐ～

「21世紀かながわ円卓会議」では、2カ年に亘り「新しい都市と地域」をトータルテーマとして掲げ、グローバル化の潮流の中で、生活様式の画一化が促進され、地域の独自性・多様性が損なわれつつある地域社会の今後のあるべき姿について検討しています。

今回は「都市と地域の未来を拓く」をテーマに、まちづくり・ものづくり・ひとづくりを個別に考えるのではなく、それらを包含したトータルな視点をもつことの重要性について討議しました。

今回はそれを踏まえ、ひとづくりに焦点を絞り、そのために必要な要素となる「人と人の絆」や、それぞれの地域が築いてきた歴史性や生活様式としての“文化”に着目し「文化と人の絆」をいかに創出していくのかを討議します。現在、地方分権制度について見直しの議論が盛んとなっていますが、今後は、そうした制度的な改革とともに、私たち一人ひとりが「自らのまちをつくっていく」意識を醸成することがさらに求められるようになるでしょう。そして「人の絆」「文化の絆」を紡いでいくことは、そのための第一歩となるでしょう。

未来への“絆”の創出に向けてアプローチするための 問題提起と趣旨説明、そして4つのセッション

<問題提起> 野呂 昭彦 三重県知事

野呂知事自らが全国知事会で提唱して設置された「この国のあり方に関する研究会」では、「なぜ地方分権が必要となるのか」という原点に立ち返りわが国のあるべき方向性について議論しており、その内容について紹介する。

<趣旨説明> 神野 直彦 関西学院大学大学院教授

今後、目指すべき社会像として、人間が尊重される「知識社会」を提唱し、その実現に向けて、個人の能力を高めることと、互いに知識を与えあう関係を築くことを意味する「知識資本」を集積させていく重要性について提唱する。

<セッション1「生活と絆」> ①寺谷誠一郎 鳥取県智頭町長 ②倉田 薫 大阪府池田市長

身近な生活レベルでのまちづくりにおいて、現存する地域資源を活用することの重要性と、住民の主体的なかわりを引き出し、継続したまちづくりを行うための行政側の受け皿となるような制度について提示する。

<セッション2「地方分権の未来」> ①松沢 成文 神奈川県知事 ②川勝 平太 静岡県知事

来るべき地域主権型社会に向けて、それぞれの地域ではどのような将来像を描いていくべきなのか。そしてそれを担う住民はどのような志を目指し、育んでいくことになるのか。最前線で地方自治に取り組む知事のメッセージを発信する。

<セッション3「産業と絆」> ①佐々木雅幸 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授 ②野田由美子 横浜市前副市長

多様な地域資源や主体、そしてそれらを結びつける創造的な活動により生み出される創造産業の発展性を通して、まちづくりを担う住民が果たす役割の重要性や、そのためのひとづくりを行うことの意義について考察する。

<セッション4「学びと絆」> ①広田 照幸 日本大学文理学部教授 ②清原 慶子 東京都三鷹市長

「まちづくりはひとづくり」という視点からみた、ひとづくりのための“学び”とは、どのようなものになるのか。教育制度が抱える課題と今後の目指すべき方向性、さらには、まちづくりとひとづくりの一体化した取組みのあり方について考える。

◆討議者

池内 了 総合研究大学院大学葉山高等研究センター長

池上 惇 京都大学名誉教授

入内島道隆 群馬県中之条町長

大熊由紀子 国際医療福祉大学大学院教授

川崎 あや NPO 法人アクションポート横浜常務理事

露木 順一 神奈川県開成町長

西村 幸夫 東京大学先端科学技術研究センター教授

林 省吾 財団法人地域創造理事長

林 義亮 神奈川新聞論説副主幹兼編集委員

早野 透 朝日新聞社コラムニスト

松澤 利親 葉山芸術祭実行委員

諸 富 徹 京都大学大学院経済学研究科准教授

多様な分野から集う講師・討議者が闘わせる議論によって 多彩な“絆”を紡ぎ出す2日間のプログラム

3月19日(金)

(13:00 開場・受付開始)

〔バス：逗子駅発 12:02、13:01 / 京急汐入駅発 12:47〕

13:30 開会

13:45 開会挨拶 福原義春 (財団法人かながわ国際交流財団理事長)

14:00 問題提起

野呂昭彦 (三重県知事) 「この国のあり方に関する研究会について」

14:30 趣旨説明 [15:20～ 講師・討議者紹介]

神野直彦 (関西学院大学大学院教授) 「人の絆・文化の絆が育む地域社会の未来」

15:30 コーヒーブレイク

15:50 セッション1「生活と絆」 [16:30～ 討議]

①寺谷誠一郎 (智頭町長) 「町民の生活文化と志がかたちになるまちづくり」

②倉田 薫 (池田市市長) 「自分たちのまちを自分たちでつくる“地域分権”へ」

討議

冒頭発言：林 省吾 (財団法人地域創造理事長)

17:20 終了

〔バス：逗子駅行 17:50 & 18:24 / 京急汐入駅行 17:45 / 横浜駅行 (高速バス) 18:10〕

3月20日(土)

(9:00 開場・受付開始)

〔バス：逗子駅発 8:23 / 京急汐入駅発 8:09〕

9:15 前日のまとめ モデレーター 神野直彦

9:30 セッション2「地方分権の未来」 [10:10～ 討議]

①松沢成文 (神奈川県知事) 「神奈川力を高め、新たな時代を創造する (仮)」

②川勝平太 (静岡県知事) 「文化力で築く“ふじのくに”」

討議

冒頭発言：露木順一 (神奈川県開成町長)

10:50 コーヒーブレイク

11:10 セッション3「産業と絆」 [11:50～ 討議]

①佐々木雅幸 (大阪市立大学大学院創造都市研究科教授)

「地域独自の生活様式が育む『創造の場』～創造産業による地域再生～」

②野田由美子 (横浜市前副市長) 「都市経営の視点で創造都市戦略を展望する」

討議

冒頭発言：西村幸夫 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

12:30 昼食

13:30 セッション4「学びと絆」 [14:10～ 討議]

①広田照幸 (日本大学教授) 「いま、教育がないうること」

②清原慶子 (三鷹市長) 「ひとを育てるまち／まちを創るひと」

討議

冒頭発言：池内 了 (総合研究大学院大学葉山高等研究センター長)

14:50 コーヒーブレイク

15:10 総括討議 モデレーター 神野直彦

16:50 閉会挨拶

17:00 終了

〔バス：逗子駅行 17:40 / 京急汐入駅行 17:45 / 横浜駅行 (高速バス) 18:13〕

※プログラムの内容は一部、都合により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

【聴講のお申込方法】

聴講申込書（以下）もしくはメールに必要事項を記載してお申込ください。申込み締切は3月10日（水）です。申込者多数の場合には抽選となりますが、締切後、結果の如何に関わらず、お申込まいただいた方全員へご連絡いたします。

※ご登録いただいた個人情報は、当財団のみが取り扱い、本フォーラムの事務や当財団のイベントのご案内以外の目的には使用いたしません。

【昼食のお申込みについて】

昼食は湘南国際村センター内2階のレストラン“桂”または1階のカフェテリア“オーク”のご利用ができます。“オーク”での食事（1,200円）は事前申込みが必要ですので、ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。

※湘南国際村センターには宿泊施設を備えておりますので、ご希望の方はご宿泊することができます。予約などの詳細につきましては、湘南国際村センター予約受付まで直接お問い合わせください。〔電話 046（855）1800、月曜日から金曜日、午前9時～午後5時〕

【聴講申込書】 築かれる都市と地域の未来～人の絆・文化の絆を紡ぐ～	
ファックス 046-858-1210 メール shimizu@kif.ac ※3月10日（水）締切	
フリガナ 氏 名	
所属	部署
住 所	〒
電話	ファックス
メール	
<input type="checkbox"/> 3月20日昼食（1,200円） <input type="checkbox"/> 希望する（当日に参加費とともにお支払いください）	
<input type="checkbox"/> 記録集『生命をめぐる対話』（1,000円） <input type="checkbox"/> 希望する（→ <input type="checkbox"/> 当日受渡し または <input type="checkbox"/> 事前送付）	

【交通案内】

① 逗子駅・新逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR 逗子駅前1番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、340円。JR 逗子駅発車後2～3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。

② 京急汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、370円。

【タクシーをご利用の場合】 JR 逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、約2,800円。

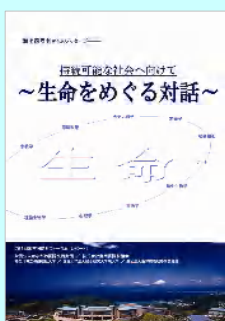
【高速バスをご利用の場合】 横浜駅東口（Y-CAT）より湘南国際村センターまで約40分、900円。

【交通案内HP】

<http://www.shonan-village.co.jp/access.html>



【問合せ】（財）かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター（担当：清水、成田）
電話 046(855)1821 メール shimizu@kif.ac



■ 湘南国際村フォーラム記録集『生命をめぐる対話』～好評販売中～

2008年1月に開催した湘南国際村フォーラム「持続可能な社会へ向けて～生命をめぐる対話～」の記録集です。多様な分野の有識者による3つのレクチャーと対話の記録。

- ・「ヒトはどこへ向かうのか」 長谷川眞理子（総合研究大学院大学教授〔進化生物学〕）
- ・「全体性を志向する『健康』という概念」 江藤裕之（長野県看護大学准教授〔言語学〕）
- ・「新たな福祉国家像の視座」 炭谷 茂（前環境事務次官）

ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。当日受渡しではなく、事前送付をご希望の場合は「ご案内」「お振込み銀行口座」をお送りします。〔1,000円、A5判180ページ〕